

〒901-0619 沖縄県南城市玉城字屋嘉部 200 番地

TEL : 098-948-1815 FAX : 098-948-2016

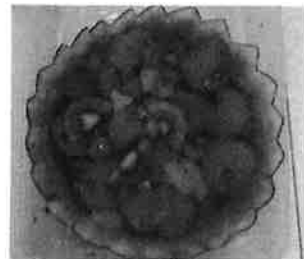
障害者支援施設 **仁愛療護園**

広報委員会発行

☆利用者バーベキュー☆



「利用者バーベキュー楽しかったー！」
今年も利用者と職員の交流を兼ねて利用者主催のバーベキュー会を行いました。コロナの影響で行事もなくなりましたが、7月に無事利用者BBQが開催でき、利用者の皆さんからは笑顔がみられました。当日は快晴で天気も良かったのですが熱中症対策で食堂ホールで催されました。



焼肉や焼きそば、ピザ、フルーツの詰め合わせ、その他利用者の大好物がたくさん並んで、暑さも忘れ美味しく食べていました。

コロナのため例年よりも規模の小さいバーベキュー会となりましたが美味しい食事を食べて元気が湧いてきました。



利用者の声♪

楽しかった！
野菜もっと食べたかった
お肉が柔らかくて美味しかった！
準備大変だったけど楽しかったよ！
ゲームやカラオケもやりたかった！
もっとたくさんの方がいたらもっと楽しかったな





第3回B棟利用者将棋大会



将棋大会も今回で第三回目を迎え前回、前々回に続き比嘉昭壮さんが3連覇されました♪

一手一手時間をかけ考える利用者や、自分のペースで横々と駒を進め試合をする利用者や職員に挑戦状を出す方もいて毎回盛り上がる将棋大会です。

表彰式ではみんなに囲まれながら優勝を喜び、照れながら「密さんが弱すぎなんですよー」と大者の貫禄が(笑)

慰勞会では利用者さんの要望で、はま寿司を食べ、食でも満たされた様子でした□□□

介護通信



仁愛釣り倶楽部

大漁のマグロに大満足

世界中をにぎわしているコロナ渦、自粛解除宣言が出て、街に出るより大自然の海に出ようと、男子職員釣りクラブ6人の恒例になってきたパヤオマグロ釣りが行われました。

梅雨明け前の沖縄、海は少し荒れ気味ではありましたが、朝の4時、日も登らない時間に南城市の安座真港に集合、出航4時30分を前に少し腹ごしらえしていざ出陣2時間かけ南城のパヤオへ！パヤオ付近はかなり荒れていて船の上で立っているのもやっと。しかし大物を釣る気満々の仁愛アングラ6人は7時前、船頭OKの合図とともに水深

150mの海へ餌を落とし大物を狙い始めた。流れが速いせいかシビマグロやマンビカーは前半連発して当たるが、本命のキハダ、本マグロは当たらずそろそろ終了時間が迫ってきた午後2時メンバーの一人に大きな当たり40分のやり取りの末、30キロのキハダマグロ、メンバーも大満足。コロナ疲れも吹き飛ばすくらい充実した休みの釣りでした。





介護福祉士に合格しました!



何も考えずに軽い気持ちで介護という仕事に飛び込んだのが甘い考えでした。

日々、業務をこなすことでもっと勉強したい、いろんな事を知りたいと思うようになり、ダメもとで介護福祉士の試験を受ける決意をしました。いざ実務者研修が始まると、仕事・家事・勉強、後週1回あるテスト対策講座の参加と体も頭もいっぱい何度心がおれそうになり、逃げそうになっている自分がいるのです。そのたびに、「資格を取って自分に自信をつけたい」と呪文のように言っていたのを今でも覚えています。

又、私を支えてくれた家族、応援してくれた職場の方々の為にもとにかくがんばらないと・・・必死でした。合格できた時は夢のようで、信じられなくて後からじわじわと合格の実感がわいてきました。

これからは介護福祉士に恥じない行動をしていきたいと思います。

生活支援員 辻野 滋子



昨年の7月から介護福祉士受験の為に通信教育が始まり何十年ぶりに机に向かう事になりました。分厚い教本を読むことから始まり勉強しなければいけないという焦りと眠気が混合しながら集中出来ず苦勞しました。年が明け正月も終わると、どうにか集中して机に向かう事も出来るようになりどうにか試験に合格することが出来ました。現場での仕事は基本的にマニュアルを学び介護技術を身に付けるのは頭で学び身体で憶えて先輩たちの行動を見て学び勉強することが多い仕事でやりがいがある仕事だと自負しています。

今、父親の介護をしていて、お風呂介助したり食事の準備をしたり何かと自然にユンタク、母親も娘たちに見てもらって幸せねと笑顔で家族に笑いが出てきました。

これを機会に両親や家族の健康にも感謝しながら介護福祉士としての仕事を、頑張っていきたいと思います。

生活支援員 城間 より子



介護を志すきっかけは、親の介護を意識し介護の道に進もうと思い、これまで勤めていた職場をやめ、仁愛療護園に就職しました。介護の世界は新鮮で私には初めてだらけで難しいことばかりでした。まさか自分が国家試験を受けるなんて思ってもいませんでした。いざ勉強を始めるとなかなか頭に入らず物覚えの悪さを痛感しました。同僚の協力もあり段々と集中できるようになり合格することが出来ました。介護は目で見て頭で考えて行動する仕事です。観察力が自分に求められている以上日々利用者と向き合っ自分なりに足りない部分を研磨し向上していける自分でありたいと常に思い日々業務に励んでいきたいと思っています。

生活支援員 具志堅 順子



私は、介護現場における介護福祉士としての役割とは、利用者さんの理想的な生活環境づくりに尽力することと考える。では理想的な生活環境づくりとはどのようなものであろうか。

4月、職場の協力を得ながら介護福祉士を取得し正規職員として働く事になりました。しかし、新型コロナウイルスの影響により感染者が増え未知のウイルスが迫っている中で利用者さんの緊張感・疎外感を覚え始めました。その中で外出することが制限される中、利用者さんとの会話を図る機会が増える中でコミュニケーションの重要性について気付かされました。

「理想的な環境づくり」という話の続きは、一般的な正しさではなく、利用者さんが幸せになる選択をする、それが利用者さんの答えになるのではないかと思います。今の状況に置き換えると初心に戻り、気持ちに寄り添った言葉を掛ける事。

介護福祉士として以上のことを留意する。

生活支援員 比嘉健祥



食生活通信



紹介の時期が遅れてしまいましたが、上の写真は“仁愛療護園 40 周年記念”のお食事です。左側が普通食(軟菜食)で、右側の形態は嚥下機能が低下した利用者でも安全に美味しく食べて頂けるよう作ったソフト食(細・流動食対応)となっております。煮物のソフト食を味見してみましたが、単品で食べても大根や人参などは素材の味がしっかりあって、煮物のタレと絡めるとさらに美味しかったですよ♪

しかし、ミキサーを長時間かけても、筋や粒が残る牛肉や、繊維が断ち切れない葉野菜を使用したソフト食は食感や仕上がりが若干悪く、今後の課題です。

利用者の園生活の楽しみでいられるよう、情報収集や技術向上に取り組みます。



夏のお楽しみ食



ナース通信

【お知らせ】11月よりインフルエンザワクチン予防接種の予定です。



当園でも、新型コロナウイルス感染予防のため、面会時間・方法を制限しています。

県内の感染状況によっては、完全に面会を禁止する場合があります。面会の際は事前に電話連絡をいただくようお願いいたします。面会の場所は、屋外・交流ホーム内で行って頂いております。



新型コロナウイルス対策

感染しない予防と、悪化しない体力づくり



うがい



手洗い



手の消毒



マスク



十分な睡眠



バランスの取れた食事

感染症拡大防止にご協力ください

